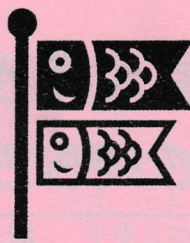


ほうれんそう



<https://www.amagasaki-library.jp/>

尼崎市立北図書館

尼崎市南武庫之荘3-21-21

TEL (06) 6438-7322

FAX (06) 6438-7344

《新・尼崎の本棚 123》

モダニズムの名残を伝える橋

阪急電鉄武庫之荘駅北側の道路に沿って、幅数メートルの大きな溝のような川に、いくつも架けられた小さなコンクリート製の橋を見かけたことはありませんか。武庫之荘3丁目に造られた鉄筋コンクリートの橋は「武庫之荘17橋」と呼ばれています。

1923(大正12)年の関東大震災で多くの文化人が阪神間に移り住んだこともあり、大正から昭和初期にかけて「阪神間モダニズム」といわれるライフスタイルが築られました。阪急電鉄を創設した小林一三は、電鉄敷設と共に郊外居住の良さを宣伝し、沿線の住宅地開発を進めました。経済都市として豊かな伝統文化を創造してきた大阪と、世界の窓口として国際港を開き、異国文化が根付いた神戸、この二都市の間で、伝統とハイカラが共存する生活様式が花開きました。

1937(昭和12)年10月に武庫之荘駅が開設されました。当時、田園風景が広がる駅周辺北側に売り出された住宅地は、総面積6万坪、戸数70戸。1戸あたり100~200坪、広くて新しい住宅街として注目を浴びました。この開発と時期を同じくして造られたのが「武庫之荘17橋」です。17の橋は、90年近く、ほぼ変わりなく地域の人たちに大切に使われています。

さて、武庫之荘駅南側の開発はというと、戦後随分経ってからになります。南改札口と駅前広場がつくれ、市営バスが乗り入れるようになったのは1970(昭和45)年、北図書館の開館は1979(昭和54)年のこと。のどかな田園風景が広がっていた光景を、今では想像するのが難しいほどです。しかし、北図書館周辺を歩いてみると、区画は小さいながらも田畑が点在しており、地域の土地利用の変遷を物語っています。

(参考:『昔も今もこれからも兵庫を築く あなたの近くの土木・建築ものづくり』兵庫県建設業協会/編集・発行
『尼崎地域史事典』尼崎市立地域研究史料館/編集 尼崎市/発行)

●阪神間モダニズムに関する本●

『京阪神モダン生活』	橋爪 紳也/著	創元社	211820411
『「細雪」とその時代』	川本 三郎/著	中央公論新社	212223260
『小林一三』	柴田 こずえ/構成・文	伊井 春樹/監修 青山 友美/絵	岩崎書店 221877012

<図書館の休館日> 印の日はお休みです

5月

6月



日	月	火	水	木	金	土
			1	2	③	④
⑤	⑥	7	8	9	10	11
⑫	13	14	15	16	17	18
⑱	20	21	22	23	24	25
⑳	27	28	29	30	31	

日	月	火	水	木	金	土
						1
②	3	4	5	6	7	8
⑨	10	11	12	13	14	15
⑬	17	18	19	20	21	22
⑳	24	25	26	27	28	29
⑳						

五月:皐月
早苗を植える月であることから。
「さ」には田の神の意。
別名:田草月、橘月、薫風
行事:八十八夜、端午の節句
お田植神事:早乙女らが実際の田植えをまねて行う神社の行事。
(参考:「心をそだてる子ども歳時記12か月」橋本裕之/監修 講談社)

開館時間 午前9時~午後8時(日曜・祝日は、午後5時15分まで)

【2024年本屋大賞 受賞作品】

今年の本屋大賞が発表されました！翻訳小説部門も掲載いたします。

	タイトル	著者	出版社
大賞	成瀬は天下を取りに行く	宮島 未奈	新潮社
2位	水車小屋のネネ	津村 記久子	毎日新聞出版
3位	存在のすべてを	塩田 武士	朝日新聞出版
4位	スピノザの診察室	夏川 草介	水鈴社
5位	レーエンデ国物語	多崎 礼	講談社
6位	黄色い家	川上 未映子	中央公論新社
7位	リカバリー・カバヒコ	青山 美智子	光文社
8位	星を編む	凧良 ゆう	講談社
9位	放課後ミステリクラブ 1 金魚の泳ぐプール事件	知念 実希人	ライツ社
10位	君が手にするはずだった黄金について	小川 哲	新潮社

【翻訳小説部門】

- 1位 『ようこそ、ヒュナム洞書店へ』 ファン・ボルム／著、牧野 美加／訳、集英社
2位 『卒業生には向かない真実』 ホリー・ジャクソン／著、服部 京子／訳、東京創元社
3位 『不便なコンビニ』 キム・ホヨン／著、米津 篤八／訳、小学館

親子図書館ツアー

【日時】5月19日(日) ①10:00~10:45、②11:00~11:45

【場所】北図書館

【対象】小学生とその保護者

【定員】各回8組、計16組(先着順)

【申込】5月5日(日)~ 1階カウンター、または電話にて受付



普段は入られない図書館の中を探検してみよう！ ※子どもだけの参加はできません。

<5月展示のご案内>

一般大展示 「いろとりどり本」

2階展示 「みんなで楽しむ尼崎の公園」



大人のための朗読会

【日時】 5月15日(水) 午後2時から1時間ほど

【場所】 3階 集会室

【内容】 『常設展示室』より

「デルフトの眺望」 原田 マハ/著

朗読はボランティア「ま・どんな」のみなさんです。

※状況により、内容の変更・中止になる可能性があります。

人を読む 平松洋子

〔ひらまつようこ〕1958年～岡山県生まれ。作家、エッセイスト。『買えない味』でBunkamuraドゥマゴ文学賞、『野蛮な読書』で講談社エッセイ賞、『父のビスコ』で読売文学賞受賞。

『おんなのひとりごはん』

平松 洋子[著]/筑摩書房

三ヶ月前に別れた男性とよく行っていた近所の蕎麦屋に1人で入ったコガネは、メニューに「ふきのとうのてんぷら」を見つけ……。 「見直したよ、蕎麦屋」ほか、とんかつ・カレー・パスタ・天ぷらなど、心とお腹を満たす美味しい物語。巻末に「ひとりでも行きたい! 100店ガイド」付き。

『平松洋子のカジュアルに骨董を楽しむ暮らし』

平松 洋子[著]/主婦の友社

“「古いもの」は日常使いしてこそ”その良さがわかる。骨董のある暮らしを朝昼夜の生活シーンの流れを通して、エッセイと美しい写真で紹介する。京都や麻布十番などの東西骨董屋さん散策地図、ごはんのオリジナルレシピやお取り寄せ情報、コラムなどを掲載。『Zakka catalog』別冊。

『おあげさん』

平松 洋子[著]
/パルコエンタテインメント事業部

友人の母手製の油揚げ入り紅白なますを、十年以上おすそ分けにあずかっていた話、母のひろうす、お揚げの炊いたん、いなり寿司。きつねうどんはいつ、どこで生まれたのかなど、油揚げへの思いが詰まった一冊。高橋みどりとの対談や、日々の使えるレシピなども収録。

『ひとりひとりの味』

平松 洋子[著]・
100%ORANGE [装画・挿画]/理論社

遊びに行ったお家でおやつのおやつのトーストに塩をかけるのを見て「うちの味」とよそのうちの味は違うんだと知った五歳の頃の話や、「私の味」「お昼の味」「ひとりで食べる」「うっそおー!?な味」「自分でつくる味」など食べもののあれこれを綴る。【中学生から】

東京女子大学文理学部社会学科卒業後、アジアを中心として世界各地を取材し、食文化や暮らし、文芸など幅広いテーマで執筆活動を行う。著書に『台所道具の楽しみ』『おいしい暮らしのめっけもん』『わたしの台所手帖』『こねて、もんで、食べる日々』『よい香りのする皿』『パセリカレーの立ち話』ほか著書多数。

児童室

おはなし会



第1・第2・第3 土曜日 場所:3階集会室

おひざ (0~2歳くらい) 午後2:00~
 小さい人 (3~5歳くらい) 午後2:15~
 大きい人 (小学校低学年) 午後2:40~

5/4 (土)
 『ポップアップカードを作ろう!』
 ~しかけ絵本の世界~
 午後1時~3時30分
 ※受付は、3時まで
 申込不要。
 ※おはなし会は、おやすみです。



5/11 (土)
 ●おひざのうえ
 「ぼんだいすき」
 「ひよこはにげます」
 ○小さい人
 「バルバルさん
 きょうはこどもデー」
 「おむすびころりん」
 ◎大きい人
 「じゃがいもポテトくん」
 「ミアッカどん」

5/18 (土)
 ●おひざのうえ
 「くつつあるけ」
 「ふうふうおいしいね」
 ○小さい人
 「まいごのたまご」
 「あなのはなし」
 ◎大きい人
 「いえすみねずみ」
 「とら猫とおしょうさん」



第1・第3 水曜日
 あかちゃんひろば

場所:1階絵本コーナー
 5/1 (水)、5/15 (水)
 午前11:00~11:20

0歳~2歳くらいのお子さんと保護者向け
 赤ちゃん絵本、わらべうた、手遊びなど



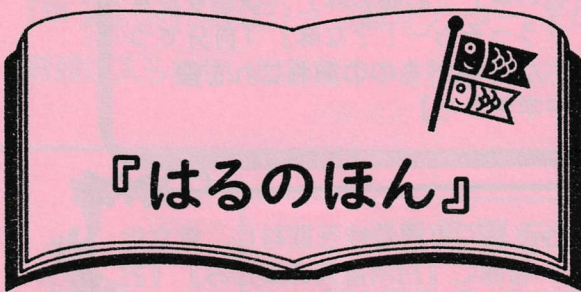
第2・第4 日曜日

場所:1階ロビー2歳くらいから
 5/12 (日)、5/26 (日)
 午前11:00~11:20

季節の絵本や紙芝居など

2024年5月

今月の展示



日	月	火	水	木	金	土
			1 🐱	2	3	4
5	6	7 休館日	8	9	10	11 🐱
12 🐱	13 休館日	14	15 🐱	16	17	18 🐱
19	20 休館日	21	22	23	24	25
26 🐱	27 休館日	28	29	30 休館日	31	

※☐日・祝日は、午後5時15分まで